2014-2015 年度今治ロータリークラブ週報 No.28

第 ２８ 回 例 会 報 告（1月２９日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５３名　・出席数　３５名　・欠席数　１８名
・当日出席率　７３．３３％　・前々回修正出席率　１００％
＜欠席会員＞青野(淳)、原、檜垣(賢)、檜垣(俊)、平田、飯、桑森、眞鍋、村上(裕)、尾越、田中、竹田
〔免除会員〕青野(明)、原田、檜垣(巧)、光藤、宮本、高木
<1/15 欠席補填>(1/19 今治北)青野(淳)、檜垣(賢)、檜垣(俊)、平田、板脇、木村、木原、吉良、桑森、眞鍋、尾越、岡本、重松、竹田、渡辺、八木、矢野、吉田

◇幹事報告・2 月のロータリーレートは 1 ドル 118 円です。
・地区大会本登録の締切は 2 月末日です。変更のある方は回覧へご記入ください。

◇木原盛展会員・退会あいさつ・2 月 1 日付の異動で本店に帰ることになりました。今治に来て 2 年、ロータリーには 6 カ月余りの在籍でした。あと 1 年ほどいたかったが、社命です。短い間でしたがありがとうございました。後任をよろしくお願いします。

外部卓話

◆近藤正人会員・卓話者紹介：井本さんは1956年1月生まれ。今治西高、早稲田大卒業後、家業の井本ブラザー商会、今治デパート代表取締役を経て、2005年からありがとうサービス代表取締役。座右の銘は「必要　必然　ベスト」。今治サッカー協会会長。

◆今治サッカー協会会長　井本雅之氏『岡田武史とFC今治＝夢を今治から』：（サッカー元日本代表監督の）岡田氏はなぜ（FC今治のオーナーになって）今治に来たのか、今治のサッカーファミリーは何を考えているのか話したい。▼まず4月8日に開校するJFAアカデミー。将来のなでしこ候補を育成するため、西日本中心に新中学1年生10人を選抜した。旧上朝小を改修して宿舎とし、昼は朝倉中で学校生活、放課後は桜井でトレーニングを行う。日本協会がコーチを派遣。国際人として通用するよう独自の英語教育も行う。卒業後の受け皿としてFC今治レディースをつくる話も進めている。▼W杯ブラジル大会の敗北で岡田氏は「日本サッカーはだめになる」と強く思ったという。帰国した氏から「至急会いたい」と電話を受けた。クラブの在り方、育成方針など話すうち「今治でやりたい」という話になって驚いた。責任を持ってもらうため運営会社の株を半分以上持ってもらうことにしてプロジェクトがスタートした。▼社長候補はここにいる矢野将文氏。愛光、東京大と進み、東大時代はサッカー部主将。ゴールドマンサックスに約10年勤務し、腰を痛めて帰郷中、岡田氏と知り会った。（今治出身で元内閣官房参与の）田坂広志氏も岡田氏と親交があり社外取締役に就く。岡田ビジョンを形にするアイデアを出してもらっている。▼岡田氏は10年後にFC今治がアジアチャンピオンになる目標を立てている。その時5人の日本代表を出す力をつけ、日本代表のサッカーはFC今治のサッカーと言われたい。岡田メソッドで育成、個々が自発的に判断できるチームにする。海外とのパイプもつくる。まずは15歳、13歳の国際大会を開く。海外の指導者研修も受け入れ、ノウハウの輸出も考える。私はRCの世話で16歳のとき米国に1年留学。国は違っても人間は同じことを考えている、と肌で感じた。岡田氏も中国でそれを感じたという。人として原理原則が変わらないのにいろんなトラブルが起こるが、できる範囲で交流を深めることで解決の糸口が見出せるのではないか。▼運営資金もスポンサーだけに頼らないモデルを模索中。岡田メソッドを輸出したり、ネットを活用したりして共感してくれる人を集める。小さい頃から育てると大金を投じて選手を取る必要はない。Jリーグは年間80～90億円かかるが、25～30億円でV争いができる。ユニフォームに関する協力企業は既に大手が決定。地場産業のタオルとコラボもできる。金のかかるスタジアムもバルセロナなどの日本にない手法に学べる。岡田氏1人来てくれるだけでつながりができる。人が動き、いろんなことが起きる。皆さんと一緒に次の時代の今治を素晴らしいまちにできたらいい。

＜ゲスト＞今治サッカー協会 会長　井本雅之様、　㈱今治．夢スポーツ 取締役　矢野将文様

次 回 例 会（2月５日）

【　ＩＭ実行委員会　】

＜配偶者誕生祝＞　渡辺　昜廣氏（2/9）
＜結婚記念日祝＞　木村　敏明氏（2/7）　白石　洋治氏（2/11）
＜入会記念日祝＞　重松　宗孝氏（2/5）

〔　健寿司　〕